

2021年11月15日

各 位

会 社 名 株式会社ALBERT
代表者名 代表取締役社長 松本 壮志
(コード番号：3906 東証マザーズ)
問合せ先 経営戦略部 大江 翔
(TEL 03-5937-1389)

受注損失引当金の追加計上に関するお知らせ

当社は、2021年5月13日付「受注損失引当金の計上に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、2021年12月期決算において受注損失引当金を計上しておりましたが、本日発表いたしました2021年12月期第3四半期決算（2021年1月1日～2021年9月30日）において、受注損失引当金を追加計上することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 受注損失引当金の内容

当社が受注している AI システム実装案件の一部において、実装スケジュールが遅延し（以下、「本遅延」といいます。）追加作業が発生することが明らかになったことから、2021年12月期第2四半期決算において受注損失引当金105,993千円（以下、「本引当金」といいます。）を計上しておりました。この度、当第3四半期会計期間末時点において本遅延が継続していることから、81,287千円を追加計上することといたしました（本引当金累計額は187,280千円となります。）。

本遅延については、当該システムにおける仕様調整に時間を要し、当初想定スケジュールから遅れが生じたことから第2四半期会計期間までに、その当時想定し得る追加工数に相当する金額を本引当金として計上しておりました。しかしながら、その後も追加の仕様調整に加え、当該システムの動作確認において不具合が発生し、その原因究明及び修正手続きに注力しておりましたが、再度スケジュールの見直しが必要となる状況となりました。そのため、改めて作業工数を精査した結果、現時点で想定し得る追加工数に相当する81,287千円を第3四半期会計期間において追加計上することといたしました。現在はプロジェクト全体の管理精度を高めた上で、発注元企業との仕様に関する合意形成プロセスを明確化し、早期に実装を完了させるべく注力しております。

なお AI システムの実装に関しては、今後もニーズの拡大が見込まれることから、当社事業にとって中長期的な成長に繋がるものであり、全社的な業務推進体制の強化を進めていく予定です。

2. 今後の見通しについて

2021年2月15日付「2020年12月期決算短信」でお知らせいたしました、2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の業績予想に変更はございません。

本日発表いたしました2021年12月期第3四半期決算におきましては、本引当金（187,280千円）を織り込んだ上で過去最高の売上高及び利益を計上しており、業績予想の達成に向けて堅調に進捗しております。引き続き当社が提供するビッグデータアナリティクス領域におけるデータソリューション事業は、デジタルトランスフォーメーション（DX）の機運が高まる昨今の環境下、引き続き堅調に推移していくものと考えております。

以 上